



行事を通して感じる成長

中学部副校長 鎌田 直樹

青葉の鮮やかさが五月晴れの青空に映える季節となりました。片や沖縄や奄美諸島ではすでに梅雨入りになっています。2年目を迎えた霧が丘学園も、スタートしてはや2ヶ月が経とうとしています。この間、みなさま方には本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、本当に感謝しております。ありがとうございます。

さて、ゴールデン・ウィークをはさんで、9年生が沖縄に8年生が白樺湖に宿泊行事に行っていました。

9年生の平和集会は、終わった後に平和記念堂の職員の方から「素晴らしい集会でしたね」との言葉をいただいたようです。私も4月に中学部体育館で行われた修学旅行説明会で、保護者に披露したときに拝見させてもらいましたが、それは素晴らしいものでした。修学旅行の二日目に行われた集会では9年生の平和への想いが最高潮に込められ、その場にいたら魂を揺さぶられるような感動を体験できたことでしょう。このときに献納された千羽鶴は、昨年度のきりたまタイムで全校を挙げて作成された鶴をつかって、実行委員とボランティアの生徒が放課後こつこつと作業を積み重ねて完成させたものです。

この平和集会の基となるのが、昨年行われた校外学習報告会だと思います。着任間もない私にとって初めて見た群読や気持ちのこもった合唱は、今でも忘れられません。私だけではなく、7年生や6年生の心にも強いインパクトを与えたことと思います。中学部の体育館で緊張しながら中学生の発表を真剣な眼差しで見ていた6年生の姿も印象に残っています。

今年も8年生の自然教室に参加させてもらいましたが、キャンドルファイヤーをはじめ農村体験や野外炊飯などを自分たちで楽しみ盛り上げる彼らの姿を見て、小学生時代の宿泊学習でとても楽しい思いをしてきたのだろうことは容易に想像できました。

小学4年生から始まる宿泊行事。小学校からいくつもの行事を経験し、それぞれの成功体験を紡ぎ重ねたさきに中学部での宿泊行事が成り立っているのだと感じさせてくれる自然教室の3日間でした。この便りが発行される頃には、小学部4年生が七沢での宿泊体験学習を終え、ひとまわりたくましくなって学園にもどってきていることでしょう。身近にいる目標となる「先輩」の凛々しい姿を目に焼きつけ、あこがれを抱きながら将来の自分の姿にだぶらせる。高いモチベーションで行事に取り組む事ができるのが霧が丘の強みだと思います。

季節がゆっくりと流れたこの2ヶ月間、一日一日のさまざまな学校生活や行事などでの体験を通し、霧が丘の児童生徒は着実に成長を遂げています。さて中学部では27日(土)に体育祭が開催されます。お忙しい中恐縮ですが、生徒の活動ぶりをぜひご覧いただけますよう、中学部のグラウンドに足を運んでいただければと思います。